

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立青毛小学校

【取組内容①】算数科を中心とした自由進度学習における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

【6年生算数科の取組】

・スプレッドシートを活用した学習計画表

算数科では、単元ごとにスプレッドシートで学習計画表を作成し、児童はこの計画表を見ながら学習を進めていた。学習計画表には、学習活動や教科書参考ページ、計算ドリルなどの実施ページを載せることで、一人一人の児童がそれぞれのめあてをもって、毎時間の授業に臨むことができていた。

また、友達の学習計画表も見ることで、自分のめあてや振り返りを記述する際に活かしたり、自分の進度を気にしながら学習したりするなど、自己調整力を高めることにもつながっている。

・学ぶ場の設定

学習する場も、毎時間自分で選択させた。（個人で・友達と・先生と）そうすることで、それぞれのペースで学習を積み上げることができていた。個人の取組は、学習支援ツールや画面取得機能を使って教師も確認し、一人一人の理解度を図るようにした。

算数「データの活用」
めあて 学習のまとめをし、**わかる**を増やそう！

学習計画：テストまで、残り『1(1.5)』時間！！
できたものは先生丸付け。
→次のステージへ！
わからないときは...？

黒板

| | | | |
|-----------------|-----------------|--------------|-----------------|
| ショートテスト | ショートテスト | 計算ドリル | P.190～191 (ノ... |
| P.190～191 (ノ... | P.190～191 (ノ... | P.255マ (ノート) | P.190～191 (ノ... |

学習のまとめの際には、座席表にしたスプレッドシートを活用した。自分の取組段階をプルダウンで選択することで、見通しをもって、学習することができた。
また、児童の意欲付けにもつながった。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立青毛小学校

【取組内容②】 地域や外部専門家と連携した授業実践

【6年生 総合的な学習の時間の取組「ぼくのわたしのSDGs」】

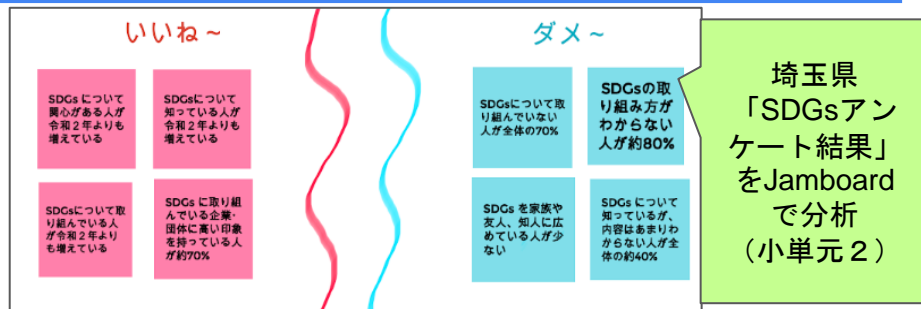
1学期には、児童一人一人が「SDGs」について疑問を見つけ、調べてまとめる活動を行った。（小単元1）

その後、埼玉県「SDGsアンケート」の結果を分析し、児童がさらに課題を見つけた。その分析結果をもとに、青毛小学校でできる取組を小グループで考え、実践を進めた。（小単元2）

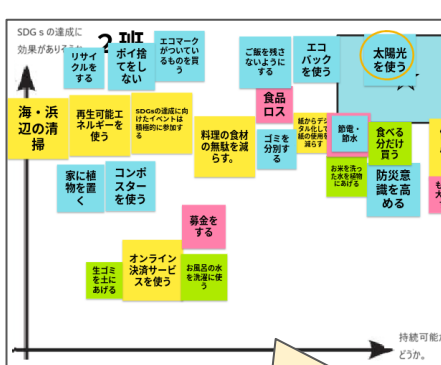
小単元2の学習を活かし、「学校・家庭・地域」の3グループに分かれ、3～4人のグループごとに自分たちができるSDGsの取組を話し合い、活動を進めている。（小単元3）

家庭グループでは、保護者やPTA、スーパーマーケット等との連携を図りながら、活動を進めている。また、地域グループでは、地産地消の取組を進めている農家に直接話を聞いたり、オンラインを通して、給食センターの栄養教諭に食品ロスに関わる質問をしたりするなど、活動を進めることができた。

Google フォームで各学年にアンケートを取ったり、クラウド上で共有できるデザインツールを活用してポスターを作成したり、Chatを通してグループの取組を共有したりするなど、児童は自分たちでクラウド活用しながら、学習を効果的に進めることができた。



埼玉県「SDGsアンケート結果」をJamboardで分析（小単元2）



6. 久喜市ではどのくらいの給食が残っているのですか？

A. 久喜市全体では、4月から11月までに80278kg (11.7%)の給食が残りました。青毛小は2626kg (13.7%)の給食が残っていました。

追加. 青毛小は小学校全体で何番目に残菜が多いですか？

A. 残菜率が一番高い小学校は16.9%、一番低い小学校は9.4%です。青毛小は21校中4番目に残菜率が高いです。

10. 小中学校全体で残しもの多いとどんな気持ちになりますか？

A. 悲しい気持ちです。同時に残り物が少なくなるようならもっと美味しい給食を考えようと思います。

15. 残った食べ物は動物の餌などのリサイクルをしていますか？

A. していません。もやせるゴミとして回収してもらっています。

座標軸やピラミッドチャートを用いて、活動内容を決定（小単元3）

オンラインでの外部専門家（栄養教諭）との連携 オンライン後に質問事項を共有

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立青毛小学校

【取組内容④】校務の徹底的な効率化（研修サイトやポータルサイトの活用）



令和5年度～令和6年度 久喜市教育委員会委嘱（1年次）

「一人残らずすべての子の可能性を引き出す、
個別最適な学びの実践を通じた
授業設計・指導法の在り方に関する研究」
～ICTを活用した算数科授業を通して～

ポータルサイト



校内研修サイトを立ち上げることで、共有や蓄積が便利になり、これまでの成果を、いつでも振り返ることができるようになる。

また、ポータルサイトによって一元管理されていることで、職員の校務が効率的になった。週報の作成や欠席確認、日直業務（学校日誌）、休暇申請など、業務がしやすくなっている。

また、それぞれの職員がChatをこまめに活用することで、情報の共有が図りやすくなった。

以下のページをご覧ください。

第1章 研究の概要

第2章 専門部の取り組み

第3章 研究の歩み

授業づくり部

学習環境部

研究成果分析部